

橋りょうを低コストで施工

推進工事大手の機動建設工業は橋りょうを低コストで施工する「S・P・C工法」を開発した。鉄骨で骨組みしたトラスを先に橋脚上に設置し周辺を生コンクリートで固める。トラスを足場に打設するため下からの支えをほとんど必要としない。建設コストを一〇%近く削減できる。橋りょう部分はほぼすべて空中で作業する。既存道路との立体交差工事をする際、通行止めにする必要がない。トラスの耐性を利用するため生コン使用量が減少。工期も短縮する。長さ百四十メートルの場合、従来の三百二十日から二百六十日になる。